

精神神経科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がてんかん医療に与える影響に関するアンケート調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	精神神経科
研究責任者	(職名)助教 (氏名)郷治洋子
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 池谷直樹
研究の意義・目的	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がてんかん医療体制に与えた影響を明らかにし、今後のてんかん医療のあり方、連携構築・維持の方法を考察することを目的とします。
対象となる患者さん	2019年1月から2020年12月までに精神神経科において、てんかんで診察を受けた患者さん
研究の方法	日常診療で実施された項目について集計データをまとめ、主施設でアンケート結果を分析します。 詳しい研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。ご希望の場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ~西暦 2022年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：日常診療で実施された以下の項目の集計データをアンケートで収集します。 長時間ビデオ脳波モニタリングの件数、外来脳波の件数、てんかんの入院件数・日数、てんかん手術の件数、てんかんカンファレンス数(集合でのカンファレンスとウェブでのカンファレンス)、てんかん外来件数(そのうち遠隔診療をした数)
外部への試料・情報の提供	外部提供先：横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 提供方法：個人情報削除した調査票、アンケートの送付、回収はオンラインアンケートツールを用いて行います
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2021年9月末

は提供を希望しない 場合	日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 精神科学講座 担当者:(職名)助教 (氏名)郷治洋子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22129)